

佐井村商工会行動プラン

～テーマ：地域コミュニティ創出による村の活性化を目指した事業者支援～

(1) 商工会を取り巻く環境の現状と将来の姿

○自地域の総括的概要と現状課題

当村の人口は現在約1千7百人である。漁業が主要産業で春から夏にかけてのウニ漁のほか、ワカメやカレイといった育てる漁業にも取り組んでいる。さらに港湾養殖事業を行うため「生業」と「販わい」を創出する「わいわい事業」が県主導により進められている。また、農業も休耕地を活用した取り組みとして、アピオス、カシスの栽培が行われている。村では地域資源を活用した、商品開発やマーケティング・ブランディング支援などを行うとともに、地域資源を活用した事業に取り組む担い手の育成による地域活性化と併せ、起業・創業、事業承継による小規模事業者の振興への取り組みについて「まち・ひと・しごと創生」を策定して取り組んでいる。

○人口動態

人口は、過去20年ほどで約37%(1千人余り)減少しており、2040年には約1千人まで減少するとの推計がでている。また、高齢化も進み、2015年に約50%であった労働者人口は2030年には約43%に、65歳以上の割合も約40%から約52%となり、今後も進むことが想定される。

○商工業者や小規模事業者の動向

過去20年ほどで小規模事業者数は約48%(73 者)減少。本会独自調査では年率換算で 2.4%減となり10年後は61者へ減少する見込みである。なお、本会地域の商工業者はほぼ小規模事業者である。

	H13	R3	対比増減	年率換算	R6	R15	R6比
小規模事業者	153	80	△73	△2.4%	78	61	△17

○その他産業構造など特記事項

商工業者の6割以上が個人経営者であり、また、65歳以上の経営者の割合も商工会員では6割を超えている。後継者がいない経営者は、これからの選択肢として廃業を考えているも経営者も少なくない。地域住民の最寄り品と云われる食料品や日用品、アパレルや電化製品などの買回り品は、ほぼ大間町やむつ市に依存している。

(2) 重点推進施策

○基本的な考え方(ビジョン)

本会は、地域コミュニティの創出で佐井村の経済を活性化させ、地元中小・小規模事業者の持続的発展に貢献します。

○主な重点推進施策

- ・伴走型支援の強化による経営発達支援事業及び経営改善普及事業の実施
- ・地域資源を活用した小規模事業者の起業・創業と事業承継の支援
- ・地元消費者の購買先の確保

(3)重点推進施策を推進するための具体的な取り組み

○支援12項目の現状数値と数値目標の達成

支援項目	創業支援	事業承継	経営革新計画	経営力向上計画
現在値	1 件	1 件	0 件	0 件
目標値	2 件	2 件	1	1 件
支援項目	持続化補助金	経営計画策定支援	経営改善普及事業	マル経融資・件数
現在値	1 件	0 件	504 件	5 件
目標値	2 件	4 件	500 件	5 件
支援項目	マル経融資・額	記帳継続指導	記帳機械化	労働保険
現在値	51,500 千円	29 件	7 件	33 件
目標値	30,000 千円	20 件	10 件	50 件

※現在値は令和5年度の値、目標値は10年後の目標値

○上記以外の具体的な取り組み

- ・地域資源を活用した起業・創業及び事業承継の支援による地域振興
- ・デジタルショッピング事業の推進
- ・飲食・小売業の活性化事業デジタルスタンプラリーの実施

(4)実施し得る体制(環境)

○あるべき体制

現在、本会は観光施設や小売店が集中する場所に位置する商工会館を拠点として、経営指導員1名、補助員1名、記帳指導員1名の計3名で運営している。当面、支援体制や財政運営の大きな変化は見込まないものの、業務効率化や省力化とともに地域経済振興事業などの事業拡大や体制変化が生じることとなった場合は、その予算確保と安定的な財政基盤の構築を図る必要がある。

(5)体制(環境)づくり(時間軸)

経営指導員1名配置である本会にとって、将来にわたる安定的で持続可能な事業者支援体制の構築は喫緊の課題である。そのため、遅くとも3年以内に業務効率化とあわせ近隣商工会と連携(チーム支援)しつつ、今後の事業者支援のあり方について方向性を示す。

(6)特記事項

○村との協調体制の確立と安定的な支援の継続

村が策定した「第5次長期総合計画」にある市街地のにぎわい再生と安定経営への支援、地場産業の振興に本会が取り組み、その効果を十分発揮するには、支援業務を安定的に遂行し得る体制が必要不可欠である。そのため、村との連携及び協調体制を強化し、商工会に対する安定的な支援(予算)の確保について確実なものとするため、村当局及び村議会との懇談会を通じて、村当局や村議会議員に対して本会及び本会が取り組む事業について一層の理解を求めていきたい。